

高木美 3大会連続総合2位

全日本スケート選手権

押切3位、菜那は連覇逃す



【長野】スピードスケートの第83回全日本選手権(日本スケート連盟主催)最終日は23日、長野市のエムエーブで男女4種目が行われ、女子は高木美帆(日体大)・帯南高出が悲願の優勝を逃したが、4種目総合164・277で3大会連続3度目の2位となった。総合優勝は5000mの1位の菊池彩花(富士急)で、共に総合の大会記録を更新した。3位は押切美沙(紀富草)・駒大苫小牧高(中札内中出)。4位の高木菜那(日本電産サンキョー)・帯南高出、までがリンク新というハイレベルな争いとなった。

美帆 100分の1秒差制す

5000 「粘れるレースできた」



【女子5000m】高木菜那・美帆の姉妹対決で、0・01秒の僅差で姉の菜那(左)に競り勝ち、拳を突き上げて喜ぶ美帆

初の女王は逃したが、高木美帆は最終種目で手応えをつかんだ。女子5000mは、高木姉妹によるレースは意地のぶつかり合いに、最後は2人が足を突き出し、美帆が0秒01差で競り勝った。菊池彩花と押切美沙に続く3位にも最終日の1500m以下5000mは国内自己ベスト。特に5000mが最後まで粘れるレースで、「晴れやかな表情を浮かべた。総合2位は3大会連続。表彰台を逃したのは3000mの4位のみで、総合の大会新も樹立しただけに「今回が一番優勝に近かったかもしれない。悔しいけれど詰めが甘さがある」と思ふ。次に生かしたい」と反省を見せた。

【長野】スピードスケートの第83回全日本選手権(日本スケート連盟主催)最終日は23日、長野市のエムエーブで男女4種目が行われ、女子は高木美帆(日体大)・帯南高出が悲願の優勝を逃したが、4種目総合164・277で3大会連続3度目の2位となった。総合優勝は5000mの1位の菊池彩花(富士急)で、共に総合の大会記録を更新した。3位は押切美沙(紀富草)・駒大苫小牧高(中札内中出)。4位の高木菜那(日本電産サンキョー)・帯南高出、までがリンク新というハイレベルな争いとなった。

3種目で表彰台

総合3位躍進の押切 「今季後半はタフに」



【女子5000m】押切美沙が7分15秒67のタイムで2位、4種目総合では3位と好成績を収めた(右)。左は同走の菊池彩花

29日から帯広で始まる全日本スケート選手権にもエントリー。精神的に大会をこなす自信をつけていく。スパー中学生として注目を浴び、バンクーバー五輪代表に選出されてから6年。大学3年生でまだ伸び盛りの今大会ではW杯団体追い抜きを制した高木姉妹、押切、菊池の「黄金カトリック」が総合の上位を独占。4人全員がリンクレコードを記録し、スケート界の新たな潮流を感じさせた。「お互いにいい存在。ぎりぎりのところで競って力を高め合っている。この4人で日本の中長距離を引っ張ってほしい」。21歳の言葉に実感がこもる。

得意の1万不発

小川拓代表入り逃す

小川拓朗は男子総合6位スピード強化も必要」と巻と不完全燃焼に終わった。得意の1万は13分45秒42で3位。「設定していた13分30秒台に届かなかった。コーナーでスケートを押し出している時間が短いように感じる」と終盤にラップを落とし、リズムに乗れなかった。今季前半に続くW杯後半戦の代表入りはならず。最後にタイムが落ちないよう滑りに磨きをかけていく。

得意の1万不発

小川拓代表入り逃す

小川拓朗は男子総合6位スピード強化も必要」と巻と不完全燃焼に終わった。得意の1万は13分45秒42で3位。「設定していた13分30秒台に届かなかった。コーナーでスケートを押し出している時間が短いように感じる」と終盤にラップを落とし、リズムに乗れなかった。今季前半に続くW杯後半戦の代表入りはならず。最後にタイムが落ちないよう滑りに磨きをかけていく。

得意の1万不発

小川拓代表入り逃す

小川拓朗は男子総合6位スピード強化も必要」と巻と不完全燃焼に終わった。得意の1万は13分45秒42で3位。「設定していた13分30秒台に届かなかった。コーナーでスケートを押し出している時間が短いように感じる」と終盤にラップを落とし、リズムに乗れなかった。今季前半に続くW杯後半戦の代表入りはならず。最後にタイムが落ちないよう滑りに磨きをかけていく。



【男子1万5000m】大会新で3位に入った小川拓朗。総合では6位に入賞した

波ない滑りを

5大会ぶり女子総合優勝の菊池彩花の話。5000mは疲れが溜まっていた。今季はある程度力を抑えてもトップスピードが出る感覚がある。スケートが乱れてしまった部分もある。レース内容には納得していない。

総合V者ひと言

内容に納得せず

あと1秒あれば高木菜

最後の1周はもう少しスピードに乗っていただければよかった

最後の1周はもう少しスピードに乗っていただければよかった。高木菜那は妹美帆に5000mの直接対決で敗れ4位。「あと1秒距離が長いから、脚が長ければ勝っていたかな」と残念がった。大会新で総合を制した昨年からの順位を落としたが「最終種目の滑りはあまりタイムが落ちなかった」と追いつきたい。

【男子】▽1500m (カルテット)		(23日・7位以下関係分)	
世界記録	シャニーン・デービス(米国)	1分41秒04	
日本記録	中村 奨太(ロジネットジャパン)	1分44秒99	
国内記録	杉森 輝大(吉羽木材)	1分47秒49	
リンク記録	デニー・モリソン(カナダ)	1分45秒22	
①中村 奨太(ロジネット)		1分48秒06	
②近藤 太郎(専大)		1分48秒37	
③ウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)		1分48秒49	
④一戸誠太郎(信州大)		1分49秒43	
⑤土屋 良輔(専大)		1分49秒86	
⑥小田 卓朗(早大)		1分49秒87	
⑦渡部知也(岩手県体協一日体大、池田高出)	1・51・42	3輪車也	
(法大-白樺学園高出)	1・51・95	小川翔也(専大-池田高出)	1
⑧久保廉(明大-帯三条高出)	1・52・09	小川拓朗(abcd drug-白樺学園高出)	1
⑨大和真(日本建物管理一北翔大、本別高出)	1・52・77	小原寛雅(高崎健大-帯南商高出)	1
⑩小坂龍(専大-白樺学園高出)	1・53・05	横山碧生(山形中央高-池田中出)	1
⑪池田崇将(専大-白樺学園高出)	1・53・32	山澤諒(大東大-池田高出)	1
⑫山澤諒(大東大-池田高出)	1・55・00	磯崎卓磨(帯南商高)	1
⑬大竹拓三(法大-駒大苫小牧高、芽室中出)	1・55・84	下坂和彦(日体大-帯三条高出)	1
⑭東城拓也(ダイイチ-白樺学園高出)	2・2・11		
⑮1万円(カルテット)			
世界記録	テッドヤン・ブローメン(カナダ)	12分36秒30	
日本記録	小川 拓朗(白樺学園高)	13分18秒30	
国内記録	小川 拓朗(abcd drug-白樺学園高出)	13分20秒78	
リンク記録	スベン・クラマー(オランダ)	12分57秒71	
①土屋 良輔(専大)		13分28秒40	
②ウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)		13分45秒14	
③小川 拓朗(abcd drug-白樺学園高出)		13分45秒42	
④小川 翔也(専大-池田高出)		13分50秒16	
⑤一戸誠太郎(信州大)		13分59秒90	
⑥中村 奨太(ロジネットジャパン)		14分00秒60	
⑦渡部知也(岩手県体協一日体大、池田高出)	14・32・70		
⑧4種目総合(最終成績)			
世界記録	シャニーン・デービス(米国)	145.742	
日本記録	ウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)	153.163	
大会記録	ウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)	153.163	
リンク記録	白幡 圭史(コグド)	155.236	
①ウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)		153.576	
②土屋 良輔(専大)		154.059	
③中村 奨太(ロジネットジャパン)		154.652	
④一戸誠太郎(信州大)		155.955	
⑤小川 翔也(専大-池田高出)		156.452	
⑥小川 拓朗(abcd drug-白樺学園高出)		157.229	
⑦渡部知也(岩手県体協一日体大、池田高出)	158.614		
⑧4種目総合(最終成績)			
世界記録	マルチナ・サブリコバ(チェコ)	6分42秒66	
日本記録	石野枝里子(日本電産サンキョー)	6分55秒07	
国内記録	穂積 雅子(ダイイチ)	7分5分58秒22	
リンク記録	マルチナ・サブリコバ(チェコ)	6分6分15秒46	
①菊池 彩花(富士急)		7分7分15秒67	
②押切美沙(富士急-駒大苫小牧高、中札内中出)		7分7分16秒43	
③高木 美帆(日体大-帯南商高出)		7分7分16秒44	
④高木 菜那(日本電産サンキョー-帯南商高出)		7分7分22秒02	
⑤田畑 真紀(ダイイチ)		7分7分22秒57	
⑥松岡 芙蓉(富士急)		7分7分34秒60	
⑦高橋菜那(山梨学院大-白樺学園高出)			
⑧4種目総合(最終成績)			
世界記録	シンデン・クラッセン(カナダ)	154.580	
日本記録	田畑 真紀(ダイイチ)	160.480	
大会記録	高木 菜那(日本電産サンキョー-帯南商高出)	164.410	
リンク記録	穂積 雅子(ダイイチ)	165.421	
①菊池 彩花(富士急)		163.890	
②高木 美帆(日体大)		164.277	
③押切美沙(富士急-駒大苫小牧高、中札内中出)		164.946	
④高木 菜那(日本電産サンキョー-帯南商高出)		165.367	
⑤田畑 真紀(ダイイチ)		166.860	
⑥松岡 芙蓉(富士急)		170.299	
⑦高橋菜那(山梨学院大-白樺学園高出)	170.930		

【W杯】第5戦(来年1月29日、ノルウェー・スリドモ)の結果で増える可能性がある。このほかの大会の選出選手は次の通り。W杯第5戦男子ウィリアムソン師円、中村奨太郎

得意の1万不発

小川拓代表入り逃す

小川拓朗は男子総合6位スピード強化も必要」と巻と不完全燃焼に終わった。得意の1万は13分45秒42で3位。「設定していた13分30秒台に届かなかった。コーナーでスケートを押し出している時間が短いように感じる」と終盤にラップを落とし、リズムに乗れなかった。今季前半に続くW杯後半戦の代表入りはならず。最後にタイムが落ちないよう滑りに磨きをかけていく。